

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	斎場管理運営			事業番号	011-203
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	斎場課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—	—	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—
	無		現状値	—	目標値	—	
	有・無		ゴール	—	ターゲット	—	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	取組	—	—	
無			—	—	—		
寄与するKPI		有・無	指標名	—	—	—	
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画				
3	事業開始年度	明治 42 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	墓地、埋葬等に関する法律 堺市立斎場条例 堺市立斎場条例施行規則			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	出先機関			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	斎場利用者	対象数	単位	
			10,000	人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	市内唯一の公営火葬場として、常にご遺族の心情に寄り添いつつ、故人の尊厳を第一にした火葬業務を実施する。 また、年々増加する火葬需要に対応するとともに、災害時等においても適切に斎場運営を実施する。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> 火葬場・式場等使用の受付及び火葬運営業務 <ul style="list-style-type: none"> 火葬部門 火葬炉17基、補助炉1基 式場部門 葬儀式場3室、遺族控室3室 待合部門 待合室12室（洋室2室、和室10室） 駐車場 マイクロバス10台、乗用車42台 主な斎場使用料金（堺市民の場合） <ul style="list-style-type: none"> 火葬場 大人（12歳以上）20,000円/体 小人（12歳未満）14,000円/体 式場（通夜、告別式）大式場 70,000円/回 小式場（通夜、告別式）50,000円/回 各種証明等の発行業務 <ul style="list-style-type: none"> 改葬許可 分骨証明及び火葬証明 			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	太陽築炉工業（株）外			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	点検対象年度 令和7年度
11 年間火葬件数 (改葬遺骨を除く)	件	目標値	—	—	—	—
		実績値	9,377	9,554		
		達成率	—	—		
当該指標を選定した理由		主要業務であり、実火葬数による積算で客観性があるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		指標が火葬件数であることから、目標値を設定し達成率を測ることに適さない				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
12 斎場施設稼働日数	件		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		目標値	364	364	365	
		実績値	364	364		
	達成率	100%	100%			
当該指標を選定した理由		実火葬数の達成のためには、斎場施設の安定的な稼働が必要であるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		斎場は、1月1日を除き施設稼働するため。				

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	斎場管理運営	事業番号	011-203
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	352,630	455,994	356,649	403,602	496,189	
13 財源内訳	国支出金		0	0	0	
	府支出金		0	0	0	
	市債		0	600	0	
	その他（光熱水費等徴収金）	639	706	623	736	673
	受益者負担金(使用料、手数料等)	269,005	287,870	230,724	292,794	254,690
	一般財源	82,986	167,418	124,702	110,072	199,126
14 人件費 (b)	39,180	35,580	31,980	31,980	31,590	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	391,810	491,574	388,629	435,582	527,779	

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費		うち一般財源	項目	年度	事業費		うち一般財源	
		R4	決算				R4	決算		R4
16 事業費内訳	斎場火葬運営業務	R4	決算	97,991	26,724	斎場監視カメラ設備更新工事	R4	決算	0	0
		R5	予算	97,991	39,325		R5	予算	83,000	33,309
	施設等修繕料（斎場定期補修）	R4	決算	50,947	13,895	電気使用料	R4	決算	62,011	16,912
		R5	予算	57,100	22,915		R5	予算	52,452	21,049
	斎場警備業務	R4	決算	24,420	6,660	ガス使用料	R4	決算	73,245	19,976
		R5	予算	24,420	9,800		R5	予算	56,206	22,556
	斎場清掃等業務	R4	決算	15,930	4,344	水道使用料	R4	決算	10,460	2,853
		R5	予算	21,090	8,464		R5	予算	8,493	3,408
	斎場防災設備更新工事	R4	決算	0	0	その他（旅費、消耗品費など）	R4	決算	68,598	18,708
		R5	予算	21,000	8,428		R5	予算	74,437	29,872

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
		① 年間火葬件数（改葬遺骨を除く）	件
② 上記①にかかる年間経費	千円	223,294	236,851
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	23,813	24,791
備考（算出についての説明等）		年間経費はガス料金、火葬運営委託料、火葬炉定期補修、火葬炉関係消耗品購入額等で算定	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

令和4年度は、年間の火葬件数が前年度より1.9%増の9,554件となった。
火葬業務において最も重要である火葬炉については、日常点検に加え定期的な補修を行いながら運用し、火葬炉が長期間使用出来ない状態にならないようにした。

18 また、施設維持管理の取組みとして、令和5年の設備更新に向け、自火報設備及び監視カメラ設備の設計委託を実施した。
火葬にかかる経費については、昨年度と比較し火葬件数が増加しているため減少となるものであるが、原油価格の高騰によるガス料金が27,800千円増加したことが影響し、年間支出額としては13,557千円の増となった。
以上のことより、効率的効果的な斎場運営であった。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 当斎場は唯一の公営火葬場として常に良好に運営することが求められている。
主要業務である火葬業務は、故人との最後のお別れの場であり、告別や収骨の場面で、スタッフの言葉使いや醸し出す静かな雰囲気を通じ、ご遺族の心情に寄り添い、故人の尊厳を第一にした火葬サービスの提供を実施した。
また、増加する火葬需要への対応については、日常の点検、定期的な機器・設備のメンテナンス工事等により、安定的かつ継続的に火葬業務を実施することができた。
本市唯一の公営火葬場として有効性は非常に高い。